

全国学力・学習状況調査の結果について

6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査について、6年児童(保護者)へはすでに個票をお渡ししましたが、本校の結果等についてその概略をお知らせします。本校では、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえながらも、これまでの指導との関連を図りつつ今後の指導に生かしていきたいと考えています。

学力の概観

(1) 国語A・算数A(知識を問う問題)は、個人差はありましたが、ともに一定の定着が見られました。算数Aでは、「数と計算」等、基礎的・基本的な学習事項の定着に成果が見られました。

(2) 国語B(活用を問う問題)では、全国・全道とほぼ同様に、国語Aに比べ正答率が低く、A問題の結果と同様に個人差がありました。算数B(活用を問う問題)では、「数量や図形についての技能」等の学習事項の定着が見られたものの、A問題の結果と同様に個人差がありました。

(3) 理科では「物質」等の学習事項の定着が見られたものの、国語・算数と同様に個人差がありました。

(4) 学習状況の質問では、読書や家庭学習の習慣化に個人差があり、未定着の状況も見られました。

(5) これらの結果を受け、学校では以下の視点を大切にしていきたいと考えます。

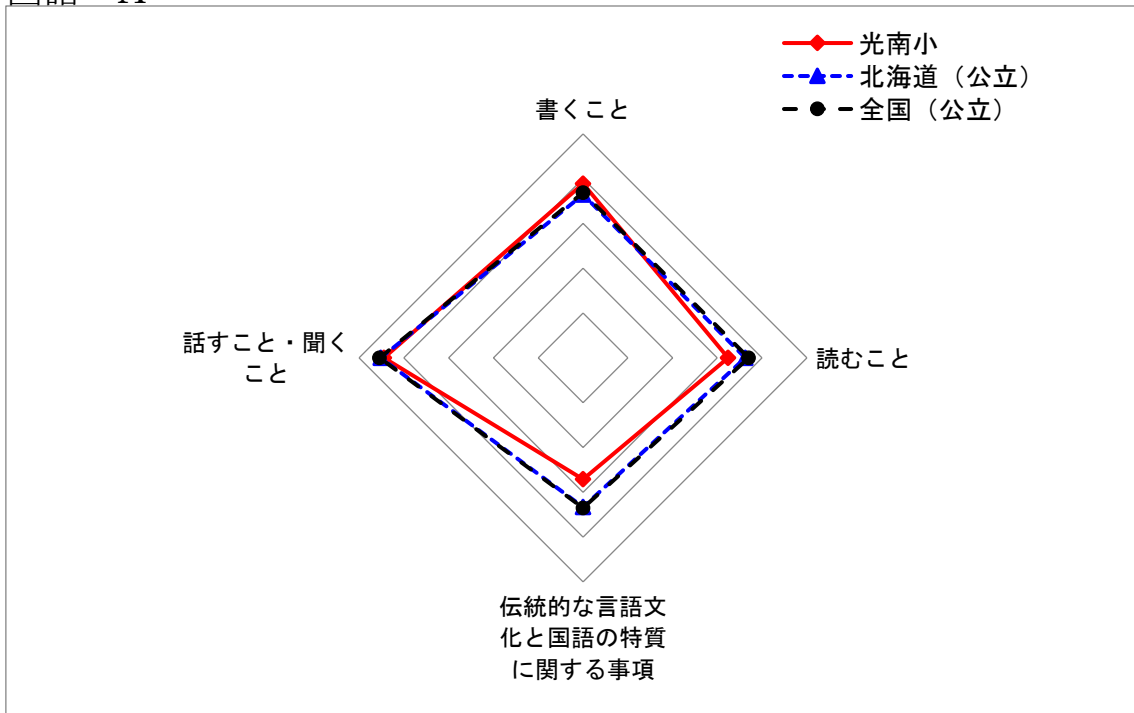
・基礎的・基本的な知識・技能の習得については、学ぶ楽しさを味わわせながら、繰り返し学習や体験的活動を重視するなど、発達や学年の段階に応じて習得させ、学習の基盤を育てていきます。

・様々な場面で「書く」活動に取り組み、主体的に自分の考えや思いをまとめ、対話や発表等を通して説明できるように指導し、深い学びとなるよう進めていきます。

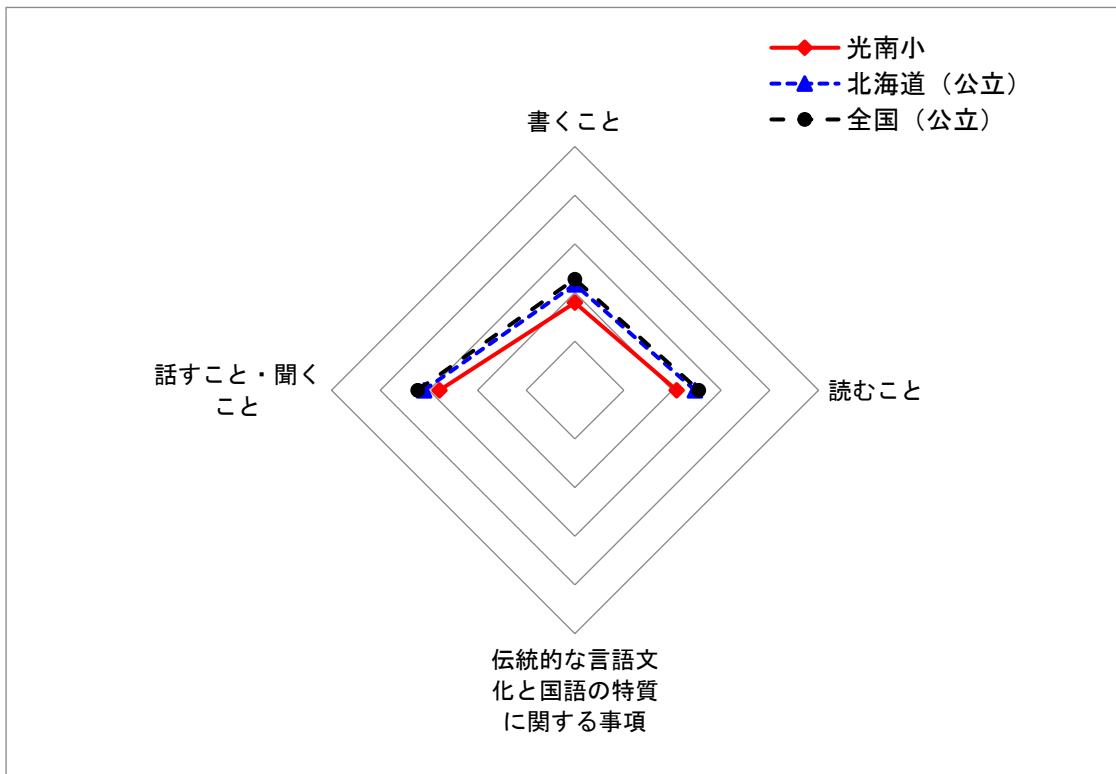
・つまずきやすい内容については重点的に取り扱ったり個別に指導したりするなど、より確実な定着を図り、分かる喜びを実感させていきます。

・保護者の理解・協力のもと、自学自習の態度や学習習慣の確立・学習意欲の向上・読書活動の充実に努めていきます。

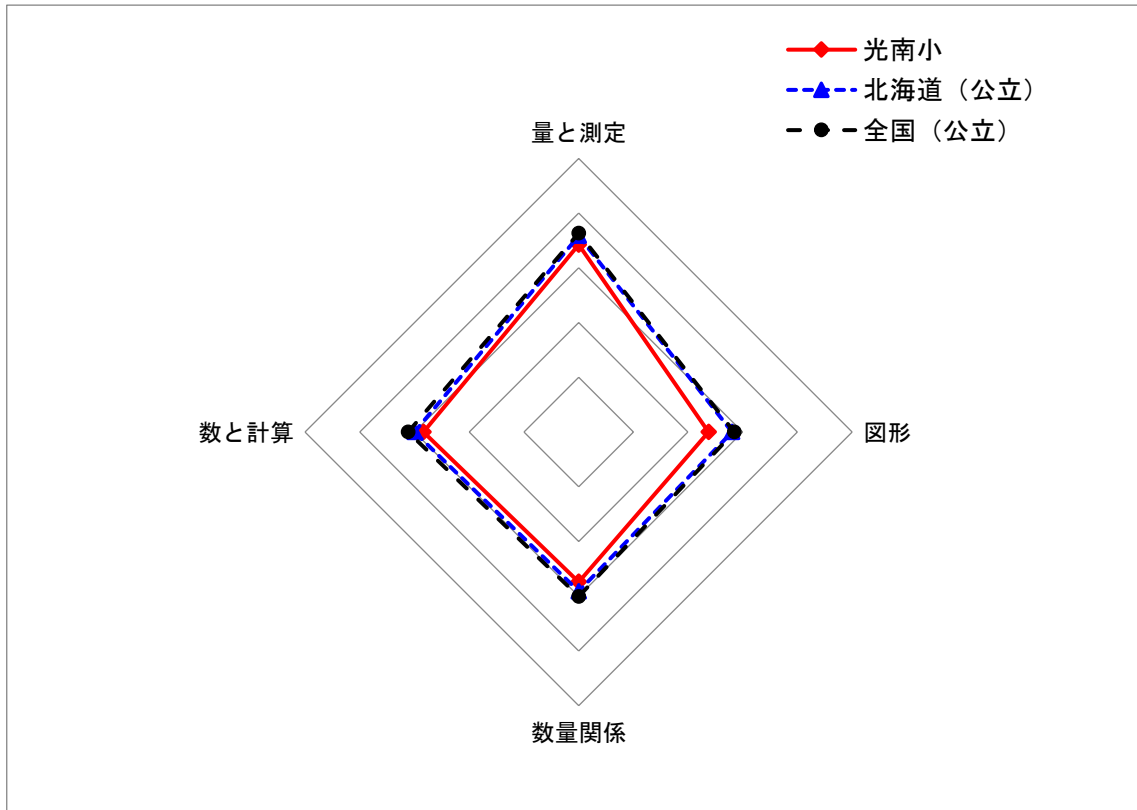
国語 A



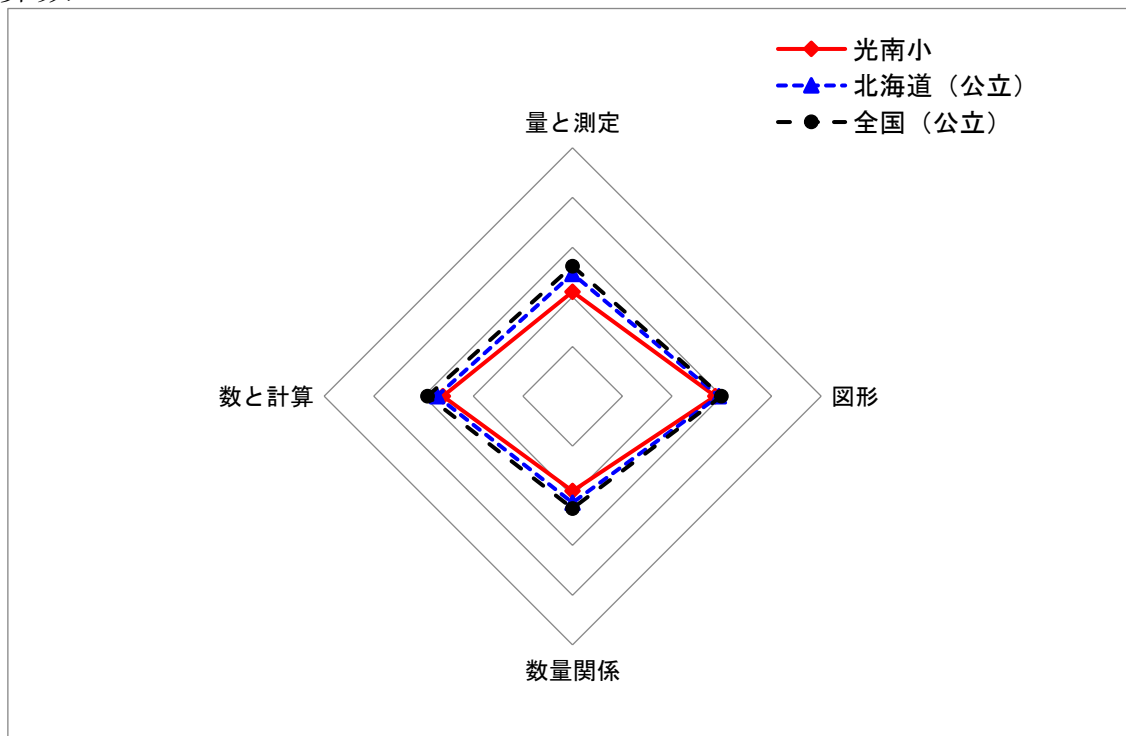
国語 B



算数 A



算数 B



理科

